

昔おきなわ風景探索

沖縄県公文書館所蔵の写真と空中写真

1945年



地図を表示

Q. どこでしょうか？

(写真番号: 75-06-1 をカラー処理)

沖縄県庁の位置 .A

小 高い丘の上には、米軍のテントがみられます。戦後まもない頃でしょうか。遠景には多くの建物が見えます。那覇市の可能性があります。湾入したところは泊港のようです。場所の決め手となったのは写真左側にある武徳殿です。武徳殿は戦前から戦後にかけて琉球政府（沖縄県庁）の側に残っていました。ということで、テントが並ぶ小高い丘は、現在の県庁ということになります。



表紙紙のQRコードで示された場所は、現在の県庁が建っているところです。1962年10月25日撮影の空中写真に表紙の写真のおよその位置を赤矢印で示します。青矢印は武徳殿。緑矢印は開南小学校、紫矢印是那覇高校です。



①行政府（1958年）（写真番号：042459）



②立法院（1968年）（写真番号：027768）



写真は、ゴードン・ワーナー氏所蔵「琉球政府ビル周辺空中写真（1960年代撮影）」、となっています。この写真から、下の写真①②③④⑤の位置関係をみることができます。⑤の司法ビルは落成式が1961年9月20日になっているので、それ以降の写真になります。左頁の1962年の空中写真とほぼ同時期の写真と思われます。



③行政第一庁舎（1961年）
（写真番号：049749）



④行政第二庁舎（1961年）
（写真番号：049752）



⑤司法ビル落成式（1961年）
（写真番号：260CR-09_0187-01）



⑥警察本部（1964年）（写真番号：007415）

写真は、琉球政府の時代の行政、立法、司法、警察などの建物が確認できます。①のモダンな建物には、米国民政府も入っていました。米国民政府は、その後1968年には浦添に移転します。近代的な建物の中で、瓦屋根の武徳殿はきわだった存在で、当時は柔道や剣道の稽古場として利用されていました。



前頁の矢印の位置を現在の地図（国土地理院）に落としてみました。地図上の赤、青、紫、緑色の矢印は空中写真とほぼ同じ位置になります。右側の写真は、戦後もしばらく残っていた武徳殿で、地図上の青矢印の位置にありました。



武徳殿（1950年頃、場所：地図の青矢印）
（資料コード：0000033549）

昔おきなわ風景探索 No. 5

発行日：令和6年（2024）10月25日

編集執筆：当山昌直（1951年生）

発行：（公財）沖縄県文化振興会 公文書管理課

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町新川148-3 沖縄県公文書館内

電話（代表）098-888-3875 FAX: 098-888-3879

増刷版 ※一部修正しました

沖縄県公文書館デジタルアーカイブ

アメリカ統治下にあった頃の写真や空中写真を公開しています。

